



## 残り僅かの2023年

2023年も残りわずかとなりました。2023年を振り返ると、コロナ禍が5月に明け、日常生活もコロナ禍以前の生活にだいぶ近づいてきました。飲食店などお店にも活気がでてきているような気がいたします。ただ、インフレが起こり、物価が上昇してきているのが気になります。また、以前に比べ、不祥事が厳しく追及されている世の中になってきたことを痛感します。世の中に寛容さがなくなってきたのか、腐敗が進んでいるのかは分かりませんが、日々、自分の言動に注意を払わなければならない世になったとつくづく感じます。

## ゆらりとしたクリスマス

今年は、大みそかと正月が当直となり、クリスマスに年休を取らせていただきました。JRで札幌から網走まで往復し、外の景色を見ながらゆっくりとした帰宅ができました。長男も寮生活から帰宅していて家族4人でクリスマスを過ごすことができました。長女は東京の妻の実家でクリスマスを過ごしたようです。伝道所に集っている兄弟姉妹を交えてクリスマス礼拝やイブ礼拝を過ごすことができました。家族団らんのクリスマスパーティーや近くの温泉に行ったりして、とにかくゆらりとしたクリスマスを過ごすことができました。

日々の生活はわたしも妻も働いていて、なかなかゆっくりできない状態でしたが、このような中でもゆっくりとした時間を過ごせる恵みに感謝を覚えます。

日本や世界の情勢をこの一年間振り返ってみると日本では増税やインフレが起こり、その割には給料があまり上がらず、人々の生活は苦しくなっているのではないかと思います。年末には自民党の国会議員の裏金疑惑が明らかになり、自民党議員は試練の1年になったのではないかと思います。

世界を見るとロシア・ウクライナ戦争は一向に終

わる気配を見せず、イスラエルとハマスの戦争も始まり、戦争の火花があちこち見られるようになっていきます。歴史の問題が火種となっていて、歴史を改めて見直し、今後に備えていく必要性を感じます。

最近、詐欺事件が増えてきています。実は、私もクレジットカードで全然知らないところで使用されていて、慌ててクレジットカード会社に報告してカードを再発行しました。どこで個人情報が洩れているか分からない時代になっています。安全が保障されない時代になってきたと感じています。



クリスマス家族写真→

## 2023年11月25日から一ヶ月間の活動

12月24日(日)クリスマス礼拝 キャンドルサービス  
12月27日(水) 一粒の麦 No. 236 発行

聖日礼拝 祈禱会 毎週(日)

## 反省と課題

仕事納めの日に近くの映画館へ行って「ナポレオン」の映画を観ました。フランス革命からナポレオンの死まで描かれた映画でした。王制が廃止され、立憲君主制となり共和制、総統性から帝政まで短い期間にフランスはいろんな政治形態がとられました。現在は共和制だと思いますが、フランスも多くの犠牲を払って現在があるのだと感じることができます。また、国民の力で柔軟にかじ取りできる民主主義の国だと感じます。他国の歴史も学びながらこれからの日本と世界の動向を見守っていきたいです。